

令和7年度 宇治市乳幼児教育・保育協働研修 年間計画

目 安となる時期等 初任期(1～6年)・中堅期(7～15年)・充実期(16年以降～)・管理職  
区分:①教育・保育の質向上 ②保幼小連携 ③発達・子育て （あくまで目安で当該時期以外の方も受講は可能です）

区分	No.	月日 (予定)	形式	テーマ・内容	対象者の目安				市立 幼小 必ず 参加	講師
					初 任	中 堅	充 実	管 理		
①	1	5月20日	講演・ グループワーク	「ともに生きて ともに育ち ともにつながる」 基本理念をキーワードに、エピソードをもちより、語り合うことを通して、教育・保育実践における具現化につなげる。	◎	◎	◎	◎		佐川 早季子 京都教育大学 教育学部 幼児教育科 准教授
②	2	5月27日	ビデオ視聴・ グループワーク	「1年生の教室環境を観て学び合う」 スタートカリキュラム実践時の教室環境等を視聴しながら意見交換を通して学び合う。	○	◎	◎	○		幾馬 礼奈 京都府山城教育局 指導主事
②	3	6月23日	講演・ グループワーク	「宇治市のめざす教育・保育」 乳幼児教育・保育支援センターや教育支援センターがめざす教育・保育について、共有し、一貫性・連続性のある教育・保育について語り合う。架け橋ブロック顔合わせを行う。	-	-	-	◎	☆	乳幼児教育・保育支援センター長 教育総合推進センター長 宇治市立岡屋小学校長
①	4	6月26日	公開保育・ グループワーク (全3回シリーズ)①	「子どもと 共につくる 教育・保育とは」【ひがしうじ幼稚園】 参加者が、研修で学んだことをそれぞれの園で実践し、その結果を次の研修に再び持ち寄って学びを深め合っていく往還型研修	-	◎	◎	○		佐川 早季子 京都教育大学 教育学部 幼児教育科 准教授
③	5	7月4日	講演	「不登校の現状と支援から幼児期を考える」 小中学校の不登校の現状や支援を知り、幼児期に配慮すべきことについて学び合う。	○	◎	◎	◎		植 えり 地域支援センター「サポートJOYO」地域コーディネーター 宇治市教育支援課指導主事
②	6	7月11日	ビデオ視聴・ 解説	「スタートカリキュラムの改善Ⅰ」 令和7年度のスタートカリキュラムを持ち寄り、児童の様子や成果と課題について意見交流をする。また、架け橋プログラムを踏まえた新しいスタートカリキュラムとその実践について学び合う。(主対象:小学校教務主任)	○	◎	◎	○	☆	幾馬 礼奈 京都府山城教育局 指導主事
③	7	7月15日	講演・ グループワーク	「宇治市のフォローシステムについて学ぶ」 発達面で支援が必要な子どもとその保護者に対する就学前後のフォローシステムについて学び合う。	◎	○	○	○		宇治市保健推進課発達相談員 宇治市学校教育課指導主事
②	8	7月28日	実践報告	「育ちと学びをつなぐ」 宇治市教育研究員の研究報告を通して、就学前施設は、小学校以降の教育を見通しながらその基盤となる資質・能力を育成していくことを、小学校は、幼児教育施設で育まれた資質・能力を踏まえて、教育活動を実施することについて学び合う。	○	◎	◎	○	☆	令和6年度宇治市教育研究員授業づくり研究部 幼小中学びに向かう力研究部
③	9	8月1日	講演・ グループワーク	「移行支援シートの記入方法について学ぶ」 移行支援シートの活用事例や記入例から学び合う。	○	◎	◎	○		宇治市特別支援教育推進委員
①	10	8月19日	実技研修	「絵本ではぐくむ子どもの感性」 幼児教育施設での絵本の環境づくりについて学び合う。	○	◎	◎	○		西村 恵里香 東宇治図書館主任 (図書館司書・絵本専門士)
③	11	9月2日	講演	「0～1歳頃の子どもの発達について」 乳児期の発達段階を学び、その時期の子どもへの関わりを学ぶ。	◎	◎	◎	◎		服部 敬子 京都府立大学 公共政策学部 教授
③	12	9月10日	公開保育or ビデオ視聴	「行動分析とカンファレンス」 具体的な子どもの姿を通して、アセスメント、関わり方等について学び合う。	○	◎	◎	○		平松 玲夏 京都府立こども発達支援センター 作業療法士
①	13	9月17日	公開保育	「子どもの主体的な力を育む環境とは」 【大谷大学附属大谷幼稚園】 公開保育とその後の協議等を通して、学び合う。	◎	◎	○	○		長澤 宗一 みのり幼稚園 園長 松井 明恵 こざくら幼稚園 園長
①	14	10月28日	実技研修	「素材と出会う・感じる・生み出す」 子どもの創造的な表現活動や環境づくりについて実践から学び合う。	○	◎	◎	○		津田 純佳 アトリエリスタ (H29～R2文化庁新進芸術家海外研修員/イタリア レッジョ・エミリア市)
①	15	11月5日	公開保育	研究・実践発表【ひいらぎこども園】 「小さな発見を意味付けて大きく育てる教育・保育の創造」 ー「じぶん」「ひと」「もの」の発見を通してー (研究園の)公開保育とその後の協議等を通して、学び合う。	◎	◎	○	○		木下 光二 鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 特命教授
①	16	11月17日	公開保育・ グループワーク (全3回シリーズ)②	「子どもと 共につくる 教育・保育とは」【ひがしうじ幼稚園】 参加者が、研修で学んだことをそれぞれの園で実践し、その結果を次の研修に再び持ち寄って学びを深め合っていく往還型研修	-	◎	◎	○		佐川 早季子 京都教育大学 教育学部 幼児教育科 准教授
②	17	11月20日	ビデオ視聴・ 解説	「スタートカリキュラムの改善Ⅱ」 1学期の研修内容を踏まえ、令和8年度のスタートカリキュラム(案)を協働して作成する。(主対象:小学校教務主任)	○	◎	◎	○	☆	幾馬 礼奈 京都府山城教育局 指導主事
③	18	11月28日	公開授業	「インクルーシブ教育の理念の実現」 (多様な学びの場創造事業と合同開催) モデル校による公開授業・研究協議を通して学び合う。	○	◎	◎	○	☆	星川 涼華 京都府立宇治支援学校 校長
③	19	12月11日	グループワーク	「乳幼児を育てている保護者への支援について」 ～意図の交流に着目して～ 保護者の思いに寄り添い、支援していく姿勢について学びあう。	◎	◎	◎	◎		宇治市保健推進課発達相談員
①	20	12月25日	公開保育	「生活力を育む保育」 ～多国籍の子どもたちと共に育ちあう保育をめざして～ 【大久保保育所】 公開保育とその後の意見交換を通して、学び合う。	◎	◎	○	○		塘 利枝子 同志社女子大学 現代社会学部 現代こども学科 教授
①	21	2月2日	公開保育・ グループワーク (全3回シリーズ)③	「子どもと 共につくる 教育・保育とは」【ひがしうじ幼稚園】 参加者が、研修で学んだことをそれぞれの園で実践し、その結果を次の研修に再び持ち寄って学びを深め合っていく往還型研修	-	◎	◎	○		佐川 早季子 京都教育大学 教育学部 幼児教育科 准教授
②	22	2月16日	実践報告・ グループワーク	「実践から学び合う」 令和7年度における各架け橋ブロックの取り組みの成果や課題等を報告し合い、次年度の取り組みに活かす。	◎	◎	◎	◎	☆	古賀 松香 京都教育大学 教育学部 幼児教育科 教授